

第6回 宝塚市教育環境のあり方協議会議事録（要約版）

- 1 日 時 平成24年2月13日（月） 18:00～20:00
- 2 場 所 市役所2-4会議室
- 3 出席者 委員4人、事務局職員等7人
- 4 内 容 次のとおり

（内 容）

- 1 開会
- 2 議事

（1）討議

- ア 協議会の意見集約及び報告書素案について
- イ 宝塚市の教育環境に係る今後の方向性について

（主な意見）

- ・「はじめに」の中で、「適正な学校規模や学校運営を確保」という箇所であるが、「学校運営」を削除し、「適正な学校規模を確保」の表現でいいのではないか。
- ・「ミニ開発」と「若年世帯層」という文言を2つ合わせて考えて浮かぶイメージが誤解を受けるかも知れない。
- ・「ミニ開発」については、正確には「小規模戸建開発」となる。
- ・市立学校だけではなく、私学への流出率についても入れた方がいいのではないか。
- ・児童・生徒数の記述であるが、数字で表記するよりグラフで表示した方が分かりやすい。
- ・「学校見学」についての記述に「学級運営」とあるが、余り耳なじみのない表現である。文言を見直す方向で検討された方がいい。
- ・「（4）通学区域の弾力化」と「（5）特認校・小中一貫校」については、一括りにした方がいいのではないか。小規模特認校は基本的に通学区域の弾力化の一形態だという理解である。「（9）地域と学校との関係」の中の記述がうまくつながらない箇所があるので、文章を大幅に再編するか、削除した方がいい。
- ・小規模特認校だけでは子どもの数は増えないので、小中一貫校とし子どもの数を増やして子どもの交流をできる条件にし、かつ、弾力化して外から子どもが入って来られることとするのがいいのではないか。
- ・西谷の場合は、地理的に南部から通うことは難しい。中山五月台小も同様である。特認校や小中一貫校については、本市の教育委員会が今後どのような学校経営をしようとしているのか、そのためにはどういう支援ができるのかというところまで考えないと急には旗を振れない。
- ・「（6）児童・生徒の発達面について」に「大規模校では（中略）責任回避の傾向性が子どもたちについて」という表現があるが、断定し過ぎるのではないか。断定する際には、データが必要となる。
- ・「（8）都市計画・開発関係について」に「ゆとりを持った校区編成」とあるが、これを削除して、「都市計画部局も含めた総合的な検討が必要」でいいのではないか。
- ・「（9）地域と学校との関係について」に「大阪市では（中略）オフィシャルの役割」とあるが、意味が分かりにくいので、「PTAのOBがコーディネーターとなって地域と学校をつないでいます」とすればいいのではないか。
- ・全国的な制度がある中で、それを取り上げずに、大阪市の例を示すのか。
- ・大阪市では教育委員会の職員も入って、実際に地域と学校をつなげるような形で支援しているので、その部分を言いたい。
- ・「（3）適正規模の考え方について」に、「過大規模校では教育目標がきちんと

達せられているか疑問があります」とあるが、「非常に大変な状況です」ぐらいのニュアンスがいいと思う。

- ・近隣住区論では、1万人を想定しているまでで、学校規模までは規定していない。
- ・教員の加配であるとか、校長、教頭の負担を減らすための改革やグラウンドの使い分けやクラブ活動を合同で行うなど、できることは検討していくということ載せていいのではないか。
- ・「おわりに」の部分の最後の文章は、非常に重要な話であるので、次のメンバーにもきちんと受け継いでいただきたい。
- ・PTAや当事者だけでなく、地域も交えて学校を、校区編成をどうするかについて忌憚のない意見交換をして、いい答えを見つけていくことが大事である。
- ・空き教室の活用については、大阪市が生涯学習ルームを学校に作っている。また、地域と学校が連携した例として、全国的に有名なのは、習志野市立秋津小学校である。
- ・地域の方が生涯学習の講座を開き、そこに子ども達に入ること、先生の負担も軽減でき、子どもと地域との連携も出てくる。
- ・幼稚園の例では、明石市ではパイロット事業として、NPOが幼稚園に入って、教育時間終了後に延長保育を実施している。
- ・神戸市の高倉台小学校でもNPOが空き教室を事務所として、学校の管理をしている。
- ・兵庫県の地方の学校で、未就園児と小学生と一緒に遊んで、その経験から、子どもが、将来、幼稚園の先生になりたい希望を持つなどの例やある特技を持つ先生が地域や子ども達に教えて、地域の子供達と触れ合うなどの例がある。
- ・大阪市東淀川区の菅原小学校が「集いの広場事業」で空き教室を活用し、小さな子どもを持つお母さん方が集まって、色々活動されている。休憩時間に子どもが寄ってきて、赤ちゃんと触れ合ったり、出産の話や子育ての体験を話すなど、非常に良い関係かできています。

(2) 事務連絡・その他

本日いただいた意見を踏まえ、報告書素案の修正を行い、再度、委員の先生方に見ていただく。報告書をもとに市で方針案を作成し、パブリックコメント等を行い、市民や保護者の意見を聴きながら、最終的に方針を決定し、次のステップに進んでいくことを考えている。

3 閉会